

人権思想の発達

(1) 市民革命

① マグナ=カルタ(大憲章)

1215年イギリスで、ジョン王の圧政に対して、貴族や僧侶が、王権の制限を国王に認めさせた。

② _____革命

1642年国王の専制政治に対し、清教徒を中心とする議会派が内乱をおこし、指導者 _____ のもとで、国王を処刑し、共和政治を行った。

③ _____革命

クロムウェルの死後、王政が復活し専制政治を行ったが、1688年議会は国王を追放し、オランダから新しい国王を迎えた。翌1689年、国王に「_____」を認めさせた。

〈権利章典〉

第1条 議会の同意なしに、国王の権限によって法律とその効力を停止することは違法である。

第5条 国王に請願することは臣民の権利であり、この請願を理由に監禁したり裁判にかけたりすることは違法である。

④ アメリカの独立

イギリスは、アメリカに重税を課し、1775年 _____ を中心にイギリス軍と戦った。1776年には _____ の起草により「_____」を発表した。また、1787年にはアメリカ合衆国憲法が制定された。

〈独立宣言〉

われわれは、自明の真理として、すべて人は平等につくられ、神から一定の犯すことのできない権利をあたえられており、この権利の中には、生命・自由および幸福の追求が含まれていることを信じる。…

⑤ _____革命

国王ルイ16世の専制政治に対して、国民議会在反発し、_____年革命が起こった。同年、国民議会は「_____」を発表した。

〈人および市民の権利宣言〉

第1条 人は生まれながら、_____で _____ な権利をもつ。社会的な差別は、ただ公共の利益に関係のある場合しか設けてはならない。

第3条 主権のみなもとは、もともと国民の中にある。どのような団体や個人でも、国民から出たものでない権力を使うことはできない。

人権思想の発達

(2) 啓蒙思想家

① ジョン＝ロック(イギリス)

「_____ (市民政府二論)」を著し、「人間はすべて平等であり、それぞれ生命・自由および財産についての生まれながらの権利をもつ」「国家は、人々がその権利や自由を守るためにつくったものであり、この目的に反するような政府は倒しても良い」と説き、
_____ 革命を理論的に正当化した。



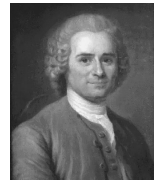
② _____ (フランス)

「_____」を著し、_____ の必要性を説いた。



③ ルソー(フランス)

「_____」を著し、「人間は生まれながらにして自由・平等である」という自然権の立場に立ち、「国の政治で最も大切なことは、国民全体の意志であり、政治を行なう権力は国民になければならない」と
_____ を主張した。



(3) 人権保障の歩み

① 近代の人権保障

_____ 権と _____ 権は、「人間は生まれながらにして自由・平等である」という自然権の考え方にもとづき 18 世紀に確立された。

② 現代の人権保障

_____ 主義が発達するにつれ、さまざまな _____ 問題が発生した。20 世紀に入ると、経済的・社会的な不平等をなくするという考え方がおこり、自由権・平等権に加えて、新しく普通選挙権などの _____ 権が認められるようになった。

③ 社会権の確立

第一次世界大戦後、ドイツで _____ 憲法が制定され、世界で初めて生存権の規定が盛りこまれた。さらに、第二次世界大戦後、1948 年第 3 回国連総会で採択された _____ では、近代以降に、人類が獲得してきた基本的人権を、社会権まで含めて集大成している。

④ 新しい人権の登場

最近では、個人が幸福な生活を追求する権利がしだいに拡大し、_____
_____ の権利、_____ 権など、さまざまなかたちで、新しい権利が認められるようになってきた。